

70名の参加で 発達生涯学習会

講師 北九州市立大学 楠凡之さん
九州ろうきん助成事業

10月8日市民文化ホールにおいて『発達障害に対する理解と支援』～不登校問題を中心に、と題して

北九州市立大学教授楠凡之さんによる学習会を開催しました。

親、家族をはじめ支援者、教師など約70名が参加し、楠先生の具体的で解りやすく実践的なお話に耳を傾けました。

また質疑応答では深刻な問題も多数寄せられましたが、ひとつひとつ丁寧に誠実にアドバイスを頂きました。子どもの心を理解し、寄り添っていくには時間を要すると思われませんが、質問された方の表情が少なからず和らいでいくのを感じほっといたしました。

翌日は、5名の方の個別相談をおこないました。一人40～50分の相談でした。ハードスケジュールの中、快く引き受けてくださり本当に有り難い事でした。

来場者アンケートより

- * 事例が多くとても解りやすく特性や理解を深めることができ実践につながる学習会だった。
- * 皆さんの悩みがわかり自分だけが悩んでいない事がわかってよかった
- * 発達障害に付いてもっと勉強したいと思っていたところ講演を知って参加、子ども達にあった支援ができるように頑張りたい。
- * 子どもへの関わり方、支援の仕方がわかった。親子共々根気よく頑張りたい。
- * 先生の温かいお人柄に癒されました。

今後の要望として、発達障害の方の就労状況とその好事例や問題点、発達障害のカウンセリング、薬物療法などについて学習したいと挙げています。

少しでも多くの方に発達障害について理解を得て、そのような子ども・若者が生きにくさを抱えつつも自分を発見し、自分らしく活躍できる社会になるよう親として支援者としてできる事は何か、いつも心に留めながら共に学んでいけたらいいですね。皆様のご参加ありがとうございました。

北九州に戻られて、楠先生から感想が寄せられましたのでご紹介します。

『出されて来る保護者の方からの質問が本当に重く、なかなか悩みましたが、こちらにとってもとても勉強になりました。ありがとうございました。ただ個別相談を受けた方に付いてはやはり4、50分の時間で問題を整理するのは至難の業で相談された方には申し訳なく思っています。今回コスモス会の温かい雰囲気も感じる事ができました。これからの会の発展を心から願っています。』



「つどい」に感じること

峰田 知恵子

このところ、毎年のようにいそいそと「つどい」に出かけてゆくには訳がある。

今年は佐世保に行ったという『(あなたの子が不登校だったのは随分前のことなのに) まだ?』と聞く知人もいる。

『楽しいよオ。今年は特にバスツアーだったシイ』と答えると、訳がわからんという顔をされる。

もちろん愛しの息子が中学校に突然(と、こっちは思えた)行けなくなり、オタオタ、グズグズ、ドタバタした今となっては懐かしい日々があるから出掛けてゆくには違いないのだけれど、どうやら既に息子は蚊帳の外のような気もしている。

息子は今でもあっちへいったり、こっちへいったり、時には頭を抱えているようだが、けっこう飄々と生きているようにも見える。

母親もため息ばかりの日もあるけれど、今では「けっこう楽しいかも」と思って生きているような気がしている。

そうなれたのは、ひとえに“ひと”に出会ったからに他ならないと思っている。

傷ついたのも人とであれば、回復するのも人と…。

一昨年の花巻のつどいの基礎講座で、高垣先生が『大人も自分の心と身体に相談をして、意識的に休まなければいけない』と話された。

その話が胸に染みて、その後の分科会で、「どうも疲れている」と、我がことを話したとたん涙が止まらなくなり、幼子の時以来人前でボタボタ涙をこぼした。

我ながら驚いた。

つくづく良かったと思う。「つどい」でなければ起こらないことだ。



翌年仕事を辞め、思い切って船に乗った。息子が定時制高校に入学した10年前に、思い切って乗った同じ船で旅をしてきた。

息子は自分を取り戻すことができたのだと思う。

私も初めて出会う人々との80日に及ぶシフトダウンした暮らしで自分を取り戻せたのだと感じている。

船上で出会った若者は、『ニッチもサッチも行かない情』という。ニッチ=日、情=常を上手く生きられないという意味の彼の造語だそう。今でもたまに手紙やメールでやりとりをしている。彼は、大学を卒業したら「職人」になりたいのだという。そのために実質的な準備を今は何もしていない。どんな職人になりたいのか具体性もなさそうだ。だから、今のところ現実的ではないのだろう。

しかし、「想う」ということには存外とてつもない力があることを、「つどい」で何度も目にしている。

だから『へえ〜』『うん、いいねえ』と彼の家族から見たらいわゆるヒトゴトを言う。

でもそのヒトゴトで、心強くなれることも「つどい」で知っている。

1年の間、身に付けた垢を「つどい」で洗濯するのだ、という言葉も以前に聞いた。

かくして、私は自分を確認しに、今年は佐世保に、そしてもちろん来年は奈良へと出掛け、“ひと”に会うのだ。

チャオだより
子ども&若者の居場所・作業所



～秋はアウトドアが気持ちいい～



10月28日(金) ハイキング&バーベキュー

行き先や何をするかは、まだ決まっていません。
子ども・若者と相談します。自分たちで決めるのだあ～
どこか行ってみたいなと思う方連絡下さい。

11月16日(水) 10時～農業体験

佐土原町の農家できゅうりの苗つけの農業体験です。
お昼のお弁当も準備して下さるとか、楽しみです。

・・・ゆるゆる 楽しく就労支援・・・

場所 古賀ビル3F 〒880-0805 宮崎市橘通東2丁目4-6
(ふるさと物産館「海幸山幸」隣り)

(賃金あり チャオ利用者に限ります)



☆お試し利用の方 参加費をいただきます(1回 1,000円 作品をプレゼント)

●10月21日(金) 9時半～12時 ケーキ作り

カウンターが広いので、ゆったり作業ができるようになりました

●会議やイベントのコーヒー販売承ります

●10月12日・19日(水) 午後1時～4時縫物工房

エコバッグ、ティッシュケース、カード入れ製作

かわいい刺繍入りです。ちょっとしたプレゼントに最適。

ケーキ、コーヒー、小物のセットもできます。ご注文に応じます。

●草むしりなどの作業もおこないます。ご相談ください。

ソーシャルビジネス・・・
困難を抱える子ども・若
者支援
宮崎県と委託事業の契約
を結びました
詳しくは次号で



揺れながらも支えあう

11月 親の会例会 ご注意ください 会場が変わっています

とき 11月12日(土) 午後1時~4時

ところ 古賀ビル 2F (宮崎市橋通り東2丁目4-6 海幸山幸隣り)

今後の例会等日程

11/12(土)	11月例会 古賀ビル2F
11/18(金)	アンダンテ映画上映と講演会 市民プラザ
12/10(土)	12月例会 市民プラザ4F 小研修室
1/14(土)	1月例会 市民プラザ4F小研修室
2/14(土)	2月例会

予定は変更になることもありますので、お問い合わせくださいませ。

相談 要予約
090-7458-0926
亀田まで

子どもさんの気持ち (どんな支援を望んでいるか)
ごいっしょに考えましょう

10月・11月スケジュール

日	月	火	水	木	金	土
9	10	11	12	13	14	15
	体育の日	相談日	チャオ縫物	発送作業	チャオ	ネットワーク
16	17	18	19	20	21	22
		相談日	チャオ縫物	○	ケーキ作り	
23	24	25	26	27	28	29
		相談日	チャオ	○	ハイキング	
30	31	11月1日	2	3	4	5
		相談日	チャオ	○	チャオ	
6	7	8	9	10	11	12
		相談日	チャオ	発送作業	チャオ	11月例会
13	14	15	16	17	18	19
		相談日	農業体験	○	アンダンテ	ネットワーク

会費納入ありがとうございます アンダンテのチケット代金も納入できます

年会費 2000円 おもに毎月発行のコスモス通信発行費に充てられます。

内訳 (会費・寄付・その他) をお書きください。

郵便振替口座

口座番号 01780-1-132375

口座名称 コスモス会

アンダンテ にゆうす

じわじわ広がって
います

映画「アンダンテ」稲の旋律 上映と

原作者 旭爪あかねさん講演会 「ひきこもって、そこから生き直して」

期 日 平成23年11月18日(金)

場 所 宮崎市民プラザ 1F オルブライトホール (市役所となり)

当 日 日 程

①14:00~15:50 上映 16:00~16:40 講演

②18:20~19:00 講演 19:10~21:00 上映

チケット料金 大人1,000円 小中高大学生 当日500円

チケット取り扱い コープみやざき各店舗 コスモス会 (090-7458-0926)

共催追加 NPO 法人フロンティア会

後援追加 宮崎市 宮崎市社会福祉協議会 コープみやざき 宮崎医療生活協同組合



みやざき中央新聞 10月10日付

より転載しました。

みやざき中央新聞には他のマスコミ同様後援を
いただいています。